

ながと

3 / 15

MARCH, 1996

編集・発行
長門市役所企画課広報統計係
電話 長門 (0837) 23-1117

お知らせ版

金子みすゞのふるさと《仙崎》によろこそ。

金子みすゞは、今日この書店でも童謡集が見つけれられるほど日本中に広がり、新聞やテレビ、ラジオなどでもよく見聞きするようになりました。“金子みすゞ現象”という言葉も生まれたほどです。

金子みすゞは本名をテルといい、明治36年(1903年)山口県大津郡仙崎村(今の山口県長門市仙崎)に生まれました。大正12年6月(みすゞ20歳)、ペンネーム“金子みすゞ”で『童話』『婦人倶楽部』『婦人画報』『金の星』四誌に童謡の投稿を始め、西条八十から「若き童謡詩人の中の巨星」と賞賛され、当時の童謡詩人たちのあこがれの星でありながら、26歳の若さでこの世を去りました。没後、その作品は散逸し、幻の童謡詩人と語り継がれるばかりでしたが、《大漁》という作品に激しい衝撃を受けられた童謡詩人・矢崎節夫氏の16年間にわたる献身的なみすゞ探しにより、没後50年余を経て512編の遺稿集が発見されました。

昭和59年に「金子みすゞ全集」と60編の選集「わたしと小鳥とすずと」、昭和60年に童謡絵本「ほしとたんぼぼ」がJULA出版局から次々と出版され、みすゞの輪は限りなく広がっていきとしています。平成8年度の小学校国語教科書や道徳で全国の子どもたちがみすゞの心と詩にふれます。また、日本ネパール友好協会代表のオギノ芳信さんが取り組んでいらっしゃるネパール小学校建設活動に矢崎氏、酒井大岳さん、金子みすゞ顕彰会の方々が賛同され募金活動を展開、昨年12月17日に現地で「みすゞ小学校」の完成式が行われました。

こうしてみすゞの澄んだ優しいところが、全国に、世界に広がっていきとしています。私たちはみすゞを愛する者として、またみすゞのふるさとを愛する者として、もっともっと多くの皆さんに、世界中の皆さんにみすゞを知ってほしいという気持ちからみすゞ情報を発信することになりました。

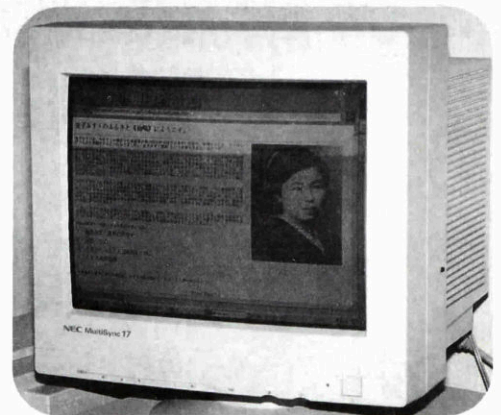
今回は記念すべき第1回目の発信です。では、

- 1 金子みすゞ甦りのあゆみ
- 2 みすゞ年譜
- 3 みすゞのふるさと《仙崎》の風土
- 4 みすゞ最新情報

をお届けします。あなたの心に、みすゞの風が届いてくれることを願いながら……

[Home Pageへ](#)

地域情報を インターネットで世界に発信



- ▶ ホームページは、
<http://www.meshnet.or.jp/CityNagato>
- ▶ メールアドレスは
gqc@mx.meshnet.or.jp